



まち×〇〇〇

～ 新たな「つながり」でまちをつくろう～

市民協働ファシリテーター養成研修
まちづくりチーム（大村、奥田、近西、松岡）





★開催概要

＜テーマ＞まち×〇〇〇

～ 新たな「つながり」でまちをつくろう～

＜開催日時＞令和4年11月22日 13:30～15:30

＜場 所＞御池創生館

＜参加者＞一般参加者 4名

(民間企業、庭師、学生)

京都市職員 10名

(市民協働ファシリテーター受講生等)

★ワークショップのねらい

<開催背景>

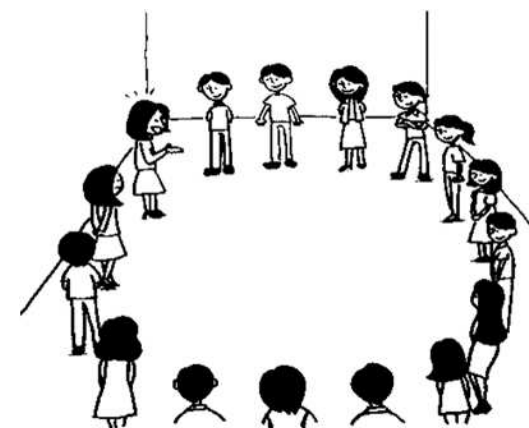
- ◆まちづくり活動が年々停滞していたり、具体的にどう取り組んだらいいのかわからないなどの声が多い。
- ◆持続可能なまちづくりを目指し、新たな担い手の発掘などの課題がある。

<問い>

- ◆まちと新たな分野をつなげて、まちをつくろう

<ゴール>

新たな担い手・分野を見つけるとともに、
その担い手とまちをつなげるアイデアを提案する。



★ワークショップのプロセス I

1 テーマの背景と共有

- ◆テーマ所管課からの背景の説明
- ◆ファシリテーターから問いの共有とルールの説明



2 メンバーのことを理解しよう（ストーリーテリング）

- ◆テーマ「あなたのまちの面白いところ／良いところ」について
2人組で傾聴し合うことで、相手の理解を深める。

例：温泉、アート、
子ども・若者

3 チームづくり（マグネットテーブル）

- ◆テーマ「まちと『つなげる』と面白そうな分野（○○○）は？」
について、各自で考え、一緒に検討する3つのチームをつくる。

★ワークショップのプロセスⅡ

4 未来のまちについて話し合おう（ワールドカフェ）

- ◆ チームで決定した「まち×分野」について、「そのまちは、どんな未来になっている？」かをメンバーを入れ替えながら小グループで対話

5 未来のまちについて話し合おう（ブレインストーミング、ドット投票）

- ◆ そのようなまちを実現するためには、だれを、どのようにつなげればいいかをチームで対話

6 市長になって未来を語ろう

- ◆ 「京都市は、まち×○○○で○○な未来を実現します！」
をテーマに市長記者会見として発表



★ アウトプットサマリー ＜新たな「つながり」でまちをつくろう！＞

1 まち×子ども・若者

◆誰と

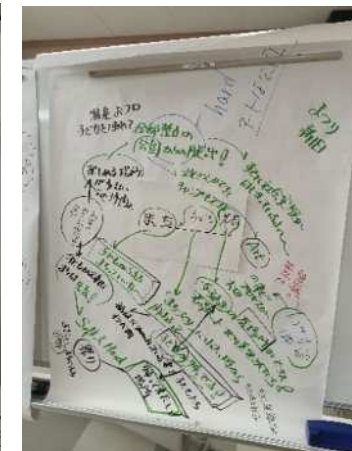
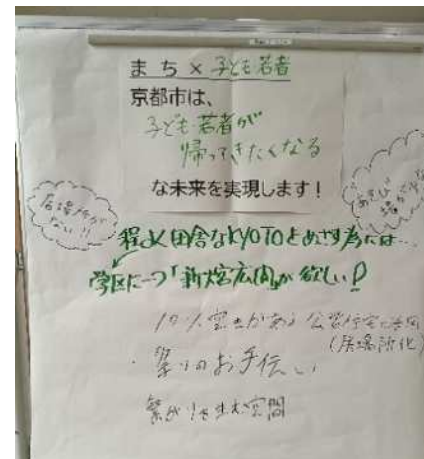
- ・ 青年団 ・ PTA ・ 学生
- ・ 女子高生 ・ 家族同士

◆どうなる

- ・ 子ども達が**帰って来たくなる**
- ・ 子どもが増える
- ・ **居場所ができる**

◆どのように

- ・ 新大宮**広場**の設置
- ・ 公営住宅の活用 ・ お祭の手伝い
- ・ **家の前**に集いのベンチ設置



★ アウトプットサマリー ＜新たな「つながり」でまちをつくろう！＞

2 まち×アート

◆誰と

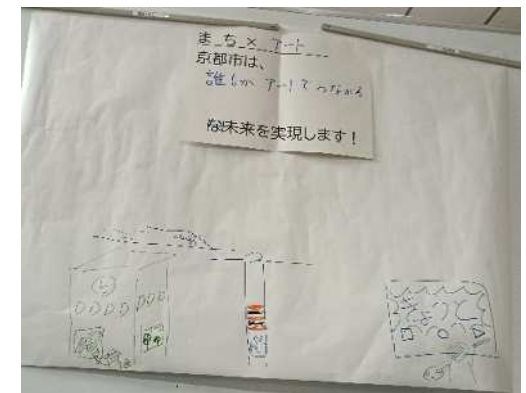
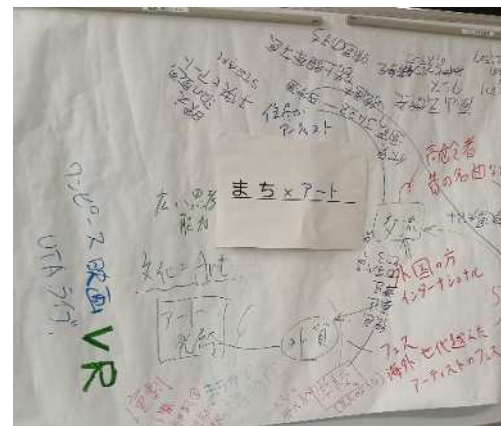
- ・ 企業（東映、任天堂、京アニ）
- ・ 子ども ・ ミュージシャン

◆どうなる

- ・ 誰もがアートでつながっている
- ・ 海外・世代を超えた**交流が生まれる**
- ・ 外貨の獲得につながる

◆どのように

- ・ **街中**に子どもの絵を展示
- ・ **地元**を舞台としたマンガ・ゲーム作成
- ・ ライブの開催



★ アウトプットサマリー ＜新たな「つながり」でまちをつくらう！＞

3 まち×銭湯

◆誰と

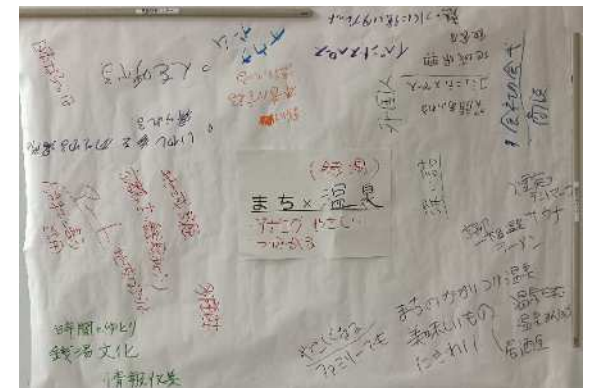
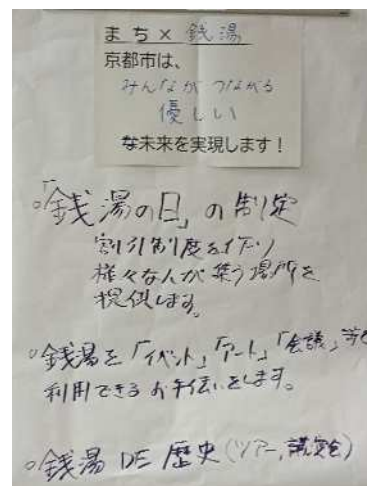
- ・ 温泉組合 ・ 企業 ・ 大学
- ・ 若者 ・ NPO

◆どうなる

- ・ みんながつながり **優しくなれる**
- ・ 地域コミュニティが活性化する
- ・ 地域振興につながる

◆どのように

- ・ **銭湯**の日の制定（割引制度など）
- ・ **銭湯**でイベント、アート、会議の開催
- ・ 歴史説明ツアー



★ アウトプットサマリー ＜アイデアの価値＞

- ◆ 広場、家の前、街中、地元、銭湯 → 日常の空間や場所
- ◆ 帰ってきたくなる、居場所ができる → 自然に、自発的に
交流が生まれる、優しくなれる

日常の空間や居場所で、自然に、自発的に
人と人が「**つながる**」ことが求められている

そのためには・・・



★ アウトプットサマリー
＜新たな視点＞

「ナッジ理論」の活用！！

- ◆ ナッジ（nudge）理論とは、
人々が自分自身にとってより良い選択を
自発的に取れるように手助けする政策手法
- ◆ 人は強制されるよりも、
それとなく「してほしいこと」を伝える方が、
行動しやすい。

★ 考察

〈これまでの支援〉

- ◆ まちづくりをしたい団体の立ち上げ、ビジョン作成、イベント開催の支援

〈これからの支援〉

- ◆ まちづくりのために、人と人をつなげるのではなく、人と人がつながりやすいような空間やきっかけづくりを支援

自発的に、自然に新しい活動が生まれる！



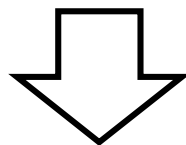
「まちづくり」の支援から「つながり」への支援へ

★ 最後に

<市民協働の本質的価値>

- ◆ 京都市市民参加推進条例では、
市民協働とは「自らの果たすべき役割を自覚して
対等の立場で協力し合い、及び補完し合うこと」

→ **ハードルが高い！**



市民協働の本質的価値とは「人と人がつながること」



★ 最後に

<宣言>

**あらゆる機会を通じ、市民・事業者・職員等、
様々な人々とつながり、そこから生まれた
新しい発想や活動を市政に取り入れます！**